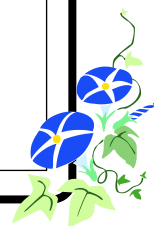




ことば便り

墨田区立押上小学校
校長 島田 和久
ことばの教室 No.4
TEL 03-3617-6925
令和7年7月1日(火)



夏休みが近付いてきました。今年も暑い夏になりそうですね。熱中症や夏風邪などに気を付けて、夏を満喫してくださいね。ぜひ、夏の思い出や体験をご家庭で語り合ってみてください。「あの時は楽しかったね!」と笑い合う時間は、お子さんの大切な宝物になると思います。私たちも、休み明けにお話を聞くのを楽しみにしています。

7・9月の行事予定

7月

1日(火)都難言協江東ブロック研究会(午後)
8日(火)都難言協専門研究会(午後)
9日(水)グループ活動(吃音)(15時半~16時半)
11日(金)夏休み前 個別指導終了
14日(月)区小研(難言) 専門家診断
16日(水)お楽しみ会(15時~16時半)
17日(木)保護者面談期間 開始
22日(火)夏季休業日始
22日(火)~25日(金)通級補充日

9月

2日(火)個別指導開始
都難言協江東ブロック研究会(午後)
5日(金)専門家診断(午前)※午前の通級はお休みです
9日(火)都難言協専門研究会(午後)
10日(水)グループ活動(吃音)(15時半~16時半)
19日(金)通級相談委員会 ※午後の指導はお休みです
27日(土)押上小土曜公開授業「ことばの相談日」

○在籍学級訪問へのご協力 ありがとうございました

在籍校訪問では、授業参観や懇談のお時間をいただき、ありがとうございました。今後も連携を図りながら、指導の充実に努めたいと思います。

☆ことばの教室 夏のお楽しみ会を行います☆

今年も夏祭りの季節がやってきました! 5つのお店を前後半に分け、通級児童が担当します。人前で話すのが少し苦手な子や、新しいことに不安を感じる子も、自分のペースでチャレンジしながら、お店番の仕事を楽しくてくれることを願っています。お客さんを呼び込んだり、相手に合わせて説明をしたりと、子どもたちにとって貴重な経験になるはずです。ご参加をお待ちしております。

◆ 日時 7月16日(水) 15:00~16:30 (受付:14:50~)

◆ 場所 押上小学校 体育館

◆ 内容 夏祭り『みんなで 夏祭り!』

ヨーヨー釣りや工作、魚釣り(お菓子の景品付き)、ゲームコーナーなど



○保護者会(講演会)を行います

10月2日(木)に、文京学院大学の柄田毅先生をお招きし、保護者講演会を実施します。

講演会では「家庭でことばを育てるためにできること」をテーマにお話しいただく予定です。お忙しいと思いますが、この機会に是非ご参加ください。

◆ 日時 : 10月2日(木) 10:00~12:00



『発音』の指導って、どんなことをしているの？



◆発音の「誤り」(構音障害)って？

「構音」は、あまり聞き慣れない言葉かもしれませんが、これは、声を出すときに口や舌をどう動かすか、という“音の作り方”のことを指します。たとえば「あ」「い」「う」などの母音でも、口の開け方や舌の位置が少しずつ違います。私たちは、そうした動きを自然に使いつけて、言葉を発音しています。

小さなお子さんは口や舌の動きが未熟なこともあり、「さかな」を「しゃかな」、「つくえ」を「ちゅくえ」と言うことがあります。こうした言い間違いは、成長とともに少しずつ正しい発音に近づいていくことが多いです。しかし、発音の誤りがずっと続いてしまったり、舌の動かし方に特徴があったりする場合には、専門的な練習が必要になることもあります。

その子に合った方法で、少しずつ練習していくことで、発音がぐんと良くなることも多いです。

▼「ば」の発音のかまえ



▼「ま」の発音のかまえ



◆どんな困り感があるの？

相手に伝わらない経験を繰り返したり、言い直しや注意を受けたりすることによって、自信を失ったり話さなくなったりします(二次障害)。加えて、無理に発音しようとして、不自然な力が入った「癖」がついてしまうこともあります。そのため、改善のための専門的な練習を、早期に受けることが大切です。

学級やご家庭では、たくさんおしゃべりがしたくなるような環境調整をお願いします。誤りを指摘せず話をよく聞いてあげたり、周りの子がからかったりしないように配慮していただけるとありがたいです。



◆どんな指導をしているの？

誤りの状態や、口や舌など(発語器官)の動きの状態を正しく把握し、なぜ誤っているのかを分析します。そして、改善に向けて計画を立て、指導を行っていきます。指導の内容は、大きく分けて4つあります。

1 音を聞き分ける力をつける

正しい音と誤り音を自分で聞き分けられるようにします。そのことにより、誤った自分の発音を修正する力がつきます。



2 舌や唇など発語器官の動きをよくする

正しい発音のためのベースになります。舌や唇の動きをコントロールする練習、舌の筋力を高める練習、舌の力を抜く練習などを行います。舌でグー・チョキ・パーの形を作った舌ジャンケンなど、楽しく練習するようにしています。家庭では、お菓子を使った練習などもお願いしています。



3 正しい音を作るための練習

課題となっている音によって、方法は変わります。

例①:音を作るのに必要な呼気の調節ができるようにします。

風車、シャボン玉、ストローなどで息を吹く練習を行います。

例②:鏡を見て舌の位置を確かめたり、発音できる他の音を利用したりして正しい音を導きます。安定して発音できるようになるまで繰り返し練習することが必要です。100回、200回と続く練習を飽きずにこなせるように、すごろくや色塗りパズルなどを使い、楽しく取り組めるようにしています。



正しい音が出せるようになったら、単語の練習に入ります。好きなキャラクターの名前なども使って、繰り返し練習します。単語でも安定して出せるようになったら、短文や音読での練習に入り、最終的には会話でも正しく言えるように定着を図ります。順を追って練習することが大切です。単語で言えても会話では誤る、ということもありますので、引き続き指摘はせずあたたかく見守っていただけると子供たちも意欲的に取り組むことができます。